

2021年闘争関連経済諸指標（その5）

2021年3月9日 金属労協政策企画局

*2020年10～12月期の実質GDP成長率（2次速報値）が発表された。前年比ではマイナス1.4%で、2月発表の1次速報値マイナス1.2%に比べ0.2ポイントの下方修正、前期比ではプラス2.8%で、1次速報値3.0%に比べ同じく0.2ポイントの下方修正となったが、これは、おおむね民間在庫の減少幅が拡大したことによるものである。

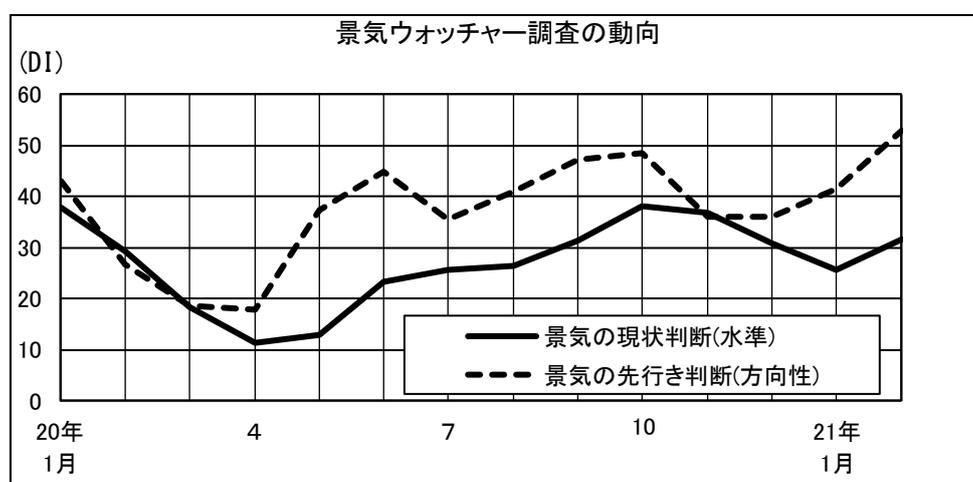
実質GDP成長率の推移（前年比）

(%)

項目	2018年度 平均	2019年度 平均	2019年			2020年				同寄与度
			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	
国内総支出	0.3	△ 0.3	0.6	1.3	△ 1.1	△ 2.0	△ 10.3	△ 5.8	△ 1.4	
内 需	0.4	△ 0.1	1.1	1.9	△ 1.5	△ 1.7	△ 7.1	△ 5.4	△ 1.4	
同 寄与度	0.4	△ 0.1	1.1	1.9	△ 1.6	△ 1.7	△ 7.2	△ 5.4	△ 1.4	△ 1.4
個人消費	0.2	△ 1.0	0.4	0.9	△ 2.4	△ 2.7	△ 11.1	△ 7.3	△ 2.4	△ 1.3
住宅投資	△ 4.9	2.5	5.9	6.1	2.4	△ 4.0	△ 5.0	△ 10.4	△ 8.7	△ 0.3
設備投資	1.0	△ 0.6	△ 0.3	4.9	△ 4.5	△ 2.0	△ 8.1	△ 10.8	△ 3.1	△ 0.5
政府消費	1.1	2.0	1.9	2.6	2.2	1.4	1.4	3.3	4.8	0.9
公共投資	0.8	1.5	△ 1.3	1.3	4.2	1.4	4.7	3.8	5.0	0.3
外需(輸出－輸入)										
同 寄与度	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.6	0.5	△ 0.3	△ 3.2	△ 0.4	0.0	0.0
輸 出	2.1	△ 2.6	△ 2.0	△ 0.4	△ 2.0	△ 6.0	△ 22.0	△ 15.4	△ 6.2	△ 1.1
輸 入	2.8	△ 1.3	0.7	2.9	△ 4.5	△ 4.0	△ 3.9	△ 12.9	△ 6.3	1.1
(参考)										
国内総支出 前期比			0.1	0.2	△ 1.8	△ 0.6	△ 8.3	5.3	2.8	
同 前期比年率			0.3	0.7	△ 7.2	△ 2.2	△ 29.3	22.8	11.7	
個人消費 前期比			0.4	0.5	△ 3.1	△ 0.6	△ 8.4	5.1	2.2	

資料出所：内閣府「国民経済計算」

*内閣府の「景気ウォッチャー調査」によれば、2021年2月の「景気の現状判断（水準）DI」は31.5となり、1月の25.7に比べやや改善した。なお、「景気の先行き判断（方向性）DI」は2カ月連続の改善となっており、2月には53.0に達している。



資料出所：内閣府資料より金属労協政策企画局で作成。

*日本工作機械工業会の工作機械受注総額は、2021年2月に前年比では36.7%の大幅増となった。2018年の水準との比較でも改善傾向が続いている。

工作機械受注総額の動向

年・月	受注総額(億円)	前年比増加率(%)	2018年=100
2018年	18,158	10.3	100.0
19	12,299	△ 32.3	67.7
20	9,018	△ 26.7	49.7
20年1月	808	△ 35.6	53.4
2	772	△ 29.6	51.0
3	774	△ 40.7	51.2
4	561	△ 48.3	37.1
5	512	△ 52.8	33.8
6	672	△ 32.1	44.4
7	698	△ 31.1	46.1
8	680	△ 23.2	44.9
9	841	△ 15.0	55.6
10	822	△ 6.0	54.3
11	887	8.6	58.6
12	991	9.9	65.5
21年1月	886	9.7	58.6
2	1,056	36.7	69.8

(注)1. 2018年=100の数値は、月の金額を12倍して算出した簡易なもの。

2. 資料出所：日本工作機械工業会資料より金属労協政策企画局で作成。

以 上